

2026 年 9 月 10 日

2026 年 8 月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は若干のスポット案件があり若干昨年を上回った。

巻取は特に学参物の動きがよく、昨年同月比を大幅に上回った。

在庫については巻取が販売数量増に伴い、大幅に在庫量が減った。

（前年比 平判 106.7%・巻取 131.9%）

再生紙平判・巻取ともに役所、官公庁関連の定期誌以外のスポットが無く、昨年を大きく下回った。

在庫については平判の動きが悪く、若干在庫量が増えた。

（前年比 平判 67.6%・巻取 88.2% 再生上質計 78.8%）

再生巻取が昨年比で大きく落としたものの、印刷用紙 A 全体では巻取の販売増により昨年を若干上回る結果となった。

また印刷用紙 A 全体の在庫量は昨年並みであった。

（印刷用紙 A 全体前年比 111.2%）

<A2 コート>

平判は、各種イベントや大学関連のパンフレット等で一部動きがみられたが、不動産、製薬関連等で動きが鈍かった。また雑誌の動きは低迷が続いており、グロス、マット共に昨年を下回った。

巻取は、不動産関連のチラシの動きが悪く、その他商印関連の落ち込みも続いている。また展示会、イベントでの目立った動きは無く、グロス、マット共に大幅に下回った。

（前年比 平判 96.7% 巻取 90.1% 全体 95.5%）

<A3 コート>

ドラッグストアやスーパー、宅配の動きはあったが、学習塾、生損保、不動産チラシの動きが悪く、カタログ等の目立った動きも無かった為、平判は昨年を下回り、巻取は昨年を大幅に下回った。

（前年比 平判 96.3% 巻取 85.7% 全体 89.0%）

<ノーカーボン紙>

平判は金融系で一部に動きがみられたが、昨年より微減した。

巻取は自治体のワクチン接種案件で動きがあり、価格修正の影響もあり昨年を上回った。

(前年比 平判 98.2% 巻取 102.4%)

<上質フォーム>

損保系で申請書や通知書案件に動きは見られたものの、自治体案件の動きは時期的に芳しくなく、昨年を下回った。

(前年比 97.4%)

<包装用紙>

保険関係、役所関係等の封筒には特に大きな動きは見られず、クラフト全般低調であった。

特殊両更に関しては、一部で飲料メーカーのDM封筒が続いており、動きが見られた。

純白ロールはお土産、贈答用の包装紙の在庫積み増しがあった前月の反動で全体的に荷動きが悪く、昨年を大幅に下回った。

包装紙全体では90.4%と昨年を下回った。

(前年比 90.4%)

<板紙>

コートボールについては、日用品関連の動きが依然として低調ではあるが、昨年の動きも低迷していた影響で、結果として昨年を上回った。

高板は依然としてトレーディングカード関連の需要が堅調。季節需要も一部見られ、昨年を上回る。

特板は医薬・化粧品関連の動きが堅調だが、在庫不足のため一部で需要に対応できない事案もみられほぼ昨年並み。

チップボールは出版用途での落ち込みが続き低調であった。エンタメ・貼箱ともに振るわず昨年を下回る。

(前年比 107.9%)